

会 議 名	
令和 5 年度第 8 回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2023 年 12 月 20 日 (水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第二会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏、(敬称略) きた包括：松村氏 (欠席) みなみ包括：吉田氏 にし包括：久野氏 ひがし包括：金子 (記録)
議 事 内 容	
1. 応援ブックについて	<ul style="list-style-type: none"> 印刷会社が決定、1/17 頃、一稿があがる。初稿を確認し、1/24 午前中までに市へ返す。 地図の位置確認、男女比アイコンは印刷会社で作直しはりつける為、要チェック。 修正量で 2.3 稿の確認時間が確保できるか決まる。変更があれば早めに連絡を行う。・2 月末納品予定。
2. 地域活動情報交換会について	<ul style="list-style-type: none"> 2 回目まではポッチャ体験会の後に意見交換会を実施。参加者の声をうけて、3 回目は「サロンに行ってみよう」という企画にしている。おしゃべりサロン (障がい者センター) で 2/19 (月) に行う予定。チラシの作成とサブスタッフへの周知は市が行う。地域活動参加者も参加可能。
3. 個別課題抽出について	<ul style="list-style-type: none"> 2 年間行ってきたが、今後も継続していきたい。 新たなデータフォーマットを送信する為、1 月より使用する。 個別課題≠地域課題、ではなく地域課題に変換する力が必要。一人の課題を皆の全体の課題として捉えていく。 <p>地域で、どうやって解決していけるか考えていく、一緒に考えてくれる地域住民の士氣を情勢していくことが生活支援コーディネーターの役割になる。例) 貫井住宅 (みなみ)・2 層協議体 地域の中での助け合いという視点。課題抽出にとどまらず、地域でどのように解決できるか (あったらいいな) を考える。</p>
4. 情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ペット情報 (別紙参照、にし包括より) 個人情報・公の情報ではない為、相談を希望する時にはにし包括に声をかける。 見守りシール (包括支援係)、徘徊高齢者探索サービス (高齢福祉係) が担当係となる。 CoCo バスルート改編について：東町循環→東小金井駅北口、駐車場が変更となる。12 月 15 日市報で周知開始する。バス停を移動することで、利用者が一旦降車する負担はほぼ解消する予定 (ただし、他の路線バスとの関係上で、平日は 1 便、土日祝は 3 便に限り一旦降車してもらう運用は残る。): 貫井南ルートは他の路線の競合の兼ね合いにより、変更なし。 介護被保険者証の提示について、高齢者限定回数券を購入することで不要となる。購入先は 11 月 15 日市報及び別紙参照 ごみ対策課より：不用品を売りたい人「おいくら」について情報提供。査定が出てから辞めることもできる。ジモティーは粗大ごみ、不用品を欲しい人が見に行くシステム。(「おいくら」及び「ジモティー」の利用についてはサイトに登録が必要)
5. 「お金の管理」啓発について	<ul style="list-style-type: none"> 4 回目 2/29 (木) 15:00~16:30 本館 シナリオ「小金井ブギウギ」 次年度の啓発活動はどのようにしていくか にし包括：終活に向けた内容を含めたい。 みなみ包括：市民交えて、高齢者の理解あるサポーターに参画してもらう等。 ひがし包括：いつまで続けるのか。→引継ぎ連絡会にて検討していく予定。
6 その他	<ul style="list-style-type: none"> 12/21 北分館啓発、13 時集合。事前申し込み 27 名 本日 15 時 20 分から、市民参加を交え朗読劇練習
次回開催予定 生活支援連絡会 1 月 17 日 (水) 14 時~以上	

会 議 名	
令和 5 年度第 9 回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2024 年 1 月 17 日（水）14:00～15:30
開催場所	本町暫定第一会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津、菊地原 ※敬称略 ひがし包括：金子（欠席）にし包括：久野 みなみ包括：吉田 きた包括：松村（記録）
議 事 内 容	
<p>1. 第 1 層協議体について ※別添資料 4・5、「プレシニア・シニアのための～」実施概要参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 4 について市より説明、共有。 ・みなみ圏域で実施の 2 層協議体について、資料 5 をもとに市、みなみ包括 2 層 Co より報告。 ・今回は男性の社会参加にしばらず、互いの活動を知ることからスタート。互いについて知るなかで、共通の課題を浮き彫りにした。そのなかに「男性の社会参加」も含まれていた。 ・引き続き 3 月、6 月、9 月とテーマに沿って話し合いを進めていく。 ・30 日の協議体に向け、市と高良委員長とで打ち合わせを実施。男性の聞き取り結果から、市として取り組んでいることについて検討することになった。 ・応援ブックの改良ポイント、「プレシニア・シニアのための社会参加説明会」について検討する。 ・各包括 2 層 Co から圏域内での活動について、2～3 分程度で報告する。 <p>2. 応援ブックについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15 日（月）に初稿があがり、15 日（月）の交換便で各包括に送付。 ・25 日（木）に赤が入った初稿を業者に渡すため、修正を入れたものは 24 日（水）午前中まで市に提出する。 ・ページ数に余裕があったため、健康の秘訣、社会参加のきっかけづくり等を、本誌の見方等掲載する。 <p>3. 地域活動情報交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりサロン（於：障がい者センター）見学会。他のサロン参加者などサブスタッフ以外も参加可。 ・市からの案内は、今年度末で任期満了の方にのみ送付するとし、任期満了の案内も実施する。対象 67 名。 ・今回の情報交換会では、各包括で参加者の集約等を行わない。 <p>4. 情報共有 ※別添「ペット情報」参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別添資料について、にし包括と市で内容を再度検討し、完成版を各包括に配布。外部には提供せず、各包括の手持ち資料として活用する。 ・地域情報を地域福祉コーディネーターも共有できると良い。にし包括 2 層 Co から社協へ情報提供・共有する。 ・社協・地域福祉コーディネーターの地域ごとの担当表があるとよいとの意見あり。担当表の作成について、にし包括 2 層 Co から社協に相談する。 <p>5. 「お金の管理」啓発について</p> <p>（前回の振り返り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貫井北分館がアクセスも良く、社会教育施設の面から、他圏域からの参加もあり盛況であった。 ・参加者 27 名を 5 グループに分け、グループワークを実施。圏域を超えた活発な意見交換があった。少人数だと声を上げやすいようだ。 <p>（来年度の啓発について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 層 Co 全員が集まっての啓発活動は今年度までとし、来年度以降は市が作成するガイドラインに沿って、各包括で啓発事業を実施していく形にしていきたいと考えるがいかがか。 ・出前講座のような朗読劇のビデオ上映と意見交換会といった形がよいかは来月以降、各包括からも意見を出し、検討していきたい。 <p>（第 4 回目の啓発実施について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 月 29 日（木）午後 3 時から 4 時 30 分 公民館本館で実施。 <p>会場がきた分館より狭いため、定員 20 名とする。朗読劇後の進行はきた包括 2 層 Co で行う。当日の</p>	

参加人数にもよるが、4、5人程度のグループを4つほど作り、意見交換をする予定。

6. その他

～シニアのための生活に役立つスマホ活用講座周知について

- ・スマホ講座、開催回数を重ねるなかで、最近は定員割れになってきている。入門講座は終了し、内容を一新することにする。
- ・2回から4回に増回。LINEの基本操作に加え、スマホを生活に役立てるための実践的な内容に変更する。

7. 朗読劇練習

- ・配役、第2部の構成検討ののち、連絡会出席者のみで読み合わせ実施。
- ・変更箇所ほか詳細は別途送付するシナリオ参照。

次回生活支援連絡会 2024年2月21日（水）14時～ 於：本町暫定第1会議室

会 議 名	
令和 5 年度第 10 回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2024 年 2 月 21 日 (水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第一会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏（敬称略） きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 ひがし包括：金子 にし包括：久野（記録）
議 事 内 容	
1. 応援ブックについて	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度版を 3/7 に各包括へは 500 部ずつ届く。配架先は市の関連施設と JR 武蔵小金井、東小金井駅。 ・コーディネーターが補充する関係から、市が配架する機関は一覧表にして後日メールで送られる予定。 ・三師会にも配架予定。 ・1 層協議体でも話題になったが、地域サロンに未参加者への配布についてどう考えるか？ ひがし) 圏域内の活動団体、場所貸ししている団体に情報誌と共に渡していきたい。 また施設内の掲示板周辺に置くと自由に取っていく方もいる。 みなみ) ケアマネ事業所に届ける。 き た) きた包括では多世代、他分野連携の協議体に参加している。 そこで関係者に提供、周知依頼することで、配布対象者層の拡大を図りたい。 に し) ケアマネ事業所への配布、モニタリング訪問時などサロン未参加（配偶者など）に手渡す。
2. 地域活動情報交換会について	<p>サブスタッフ卒業生 9 名参加 (2/19 (月))。(※緑町の民生委員の方には毎回どなたかに参加いただき、会の進行のサポートをお願いして) 情報交換はできた。</p> <p>事前に進行役より「おしゃべりの会」の参加者に対し、「2 月は『地域活動情報交換会』と共催になる」ことを伝えてあったが、当日、参加人数が多いことへの参加者の戸惑いの声もあった。</p> <p>また、応援ブックを見て自発的に参加することは、ハードルが高いが、このような機会があると参加しやすいという声もあった。</p> <p>2/29 (木) のお金の管理講座は好評で定員に到達した。今後は出前講座で行うことを検討している。</p>
3. 令和 6 年度「お金の管理」啓発について	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も啓発していく必要性はある。 ・令和 6 年度は、5 年度のような 4 人のコーディネーターと一緒にすることは、業務量の負担も考慮し実施しない。 <p>各包括の意見</p> <p>に し) 希望するサロンに対し、動画・リーフレットで周知し、その後グループワークを行いたい。</p> <p>き た) サロンによっては、ハード面の問題で動画が流せないところもある。サロン主催者側で朗読劇を行う方が参加者に楽しんでいただき、良かった。町会への働きかけも一つと考える。 ガイドライン作成については、「まだ内容のブラッシュアップが必要な段階ではないか」との意見があり。</p> <p>みなみ) 今年度同様のことは難しい。出前講座であれば可能な限り協力する。様々困りごとも増えている。年度毎に困りごと対応事業を増やして、コーディネーターが担い続けるのは本意ではない。市民による事業の担い手づくりなど、実際の「困り事」に対しての先を見据えた方法を考えていくことも大切ではないかと思う。</p> <p>ひがし) 「劇団ひがし」の経験もあり、朗読劇も可。動画も可。</p> <p>市より) ガイドライン作成は、まだ決定ではない、一案。 「困り事」の次のステップに進むことは、将来的には必要だが、まだ第一ステップに到達していない市民も多い。まずはそこに焦点を当てたい。令和 6 年度は 2 回/年 (2 圏域ずつ) 講座等を行う方法もあると考える。※R6 年度実施については、課内でも再度検討していくことに。</p>
4. 第 4 回お金の管理講座について	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を交えての朗読劇練習。 ・14 時集合、16:30 終了で、17 時には完全撤収。 ・各包括で周知したい。他のイベント情報等があれば、当日チラシ配布可。できれば事前にきた包括に交

換便で送ってほしい。

5. 情報共有

- ・3/8（金）社医学での「以外と知らない介護の基本講座」は好評につき定員に達した。
- ・スマホ活用講座も定員に達した。
- ・アウトドアけあスタンプラリーの申し込みが少ないので再度周知してほしい。

6. その他

一層協議体に保健福祉部長も出席していた。その部長から「男性の社会参加」という課題に対し「一般市民の委員男性がいない。」との意見があった。

「委員」ではないにしても男性を入れられないのか、各包括で推薦できる男性はいないか（市より）

「翁味会、クリスタルなどの団体の中からはどうか」との声が上がった。男性中心、男性が多い団体は世代交代がうまくいき、長く継続できている。団体の特徴として、きちんと組織化できていることが要因でもある。そのため「一層協議体で何を話してもらうか」を具体的に検討してからの推薦でも良いのではとの意見もあった。

事務手続き上3月の連絡会では推薦者を決めたい。

次回生活支援連絡会 3月21日14時～ 西庁舎第5会議室にて

会 議 名	
令和 5 年度第 11 回 生活支援事業連絡会	
開催日時	2024 年 3 月 21 日 (水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第一会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏、菊地原氏（敬称略） ひがし包括：金子 にし包括：久野 きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田（記録）
議事内容	
<p>1. 第一層協議体男性委員の推薦について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各包括から男性委員の候補案 <p>ひがし/T 氏（ローレライ 2）、W 氏（多くのサロンに一般参加されている。お隣りさんカフェ、お茶の間、ひだまり、唱の会などに参加、85 歳の高齢の方で少し心配）</p> <p>に し/S 氏（喫茶カフェ・まどい主人）、T 氏（生きがい桜会の若手、まとめるのが上手な方）</p> <p>みなみ/S 氏（野川自然の会代表、民生委員）</p> <p>き た/S 氏（グリーンタウンさくら体操/任されて応えるタイプの方、積極的に通いの場を創っている訳ではない） H 氏（シルバー人材 PC 班、スマホサポーター、貫井北分館公民館企画運営委員、いちごえ会）、</p> <p>Y 氏（翁味会会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6 年 5 月 21 日の第一層協議体への参加を予定している。候補選定については担当課に持ち帰り対象者検討。 <p>2. 令和 5 年度お金の管理啓発振り返り</p> <p>別紙参照</p> <p>ひがし/講座参加者は、興味関心のある方。総合相談等で関心のある人。日頃から関心を持って動いている方。そういった方々への動機づけのアプローチとしては有効。反面、興味関心ない方への個々での啓発は大事。学びあい出前講座などの活用も良い。</p> <p>に し/グループワークなどを通して興味関心高い事や、お金の管理の必要性をわかっている方の参加があった。金銭管理ばかりでなく、老い支度などもふくめ、もう少し突っ込んだ話をしていく必要あり。</p> <p>みなみ/私たちだけでなく啓発に市民参加の力をお借りできたのは大きかった。当事者目線でこのテーマに関心を持つ仲間増やす力になったように感じる。</p> <p>き た/特になし</p> <p>担当課/定員を超える申し込みがあり、次はいつやるのかとの問い合わせもあった。</p> <p>3. 令和 6 年度「お金の管理」啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発への期待の声、次年度以降の活動をどうするか ・パンフレットを使い、個別の啓発は引き続き地道に行っていく。 ・通いの場や悠友クラブなど、当事者たちが出演して朗読劇をやってみたいと気運があがれば、協力開催は可能ではないか。 ・各サロンや通いの場には既に回りながら説明している。追加でリクエストがあれば行う。 ・過去 4 回の朗読劇は DVD にして各包括に配布予定。啓発の際の教材として利用もできる。 ・お元気サミットでの啓発劇を行うかは今後検討していきたい。・・・お元気サミットは毎年、同じ方々が来ている傾向がある。 ・介護福祉課主導で行うより、生涯学習課と協力して公民館の主催講座/高齢者学級などのプログラムに盛り込んでもらうなどの方が、これまで届かなかった方へ伝えられるのではないか。 <p>※他課との協力事業については担当課持ち帰り</p> <p>※R6 年度啓発を行った際は、生活支援活動報告フォームにて報告する。</p> <p>4. 評価シート提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出締切期限：4 月 15 日(金) Email 添付データでの提出 ・R5. 1~12 月の個別課題抽出資料なども参考に評価シート作成 ※見守り課題が多い事が特徴（昨年度比較） ・その他/個別課題の抽出基準について <p>圏域ごとに様々であることを共有、その上で抽出基準を統一するのではなく、各圏域の抽出課題の傾向か</p>	

らも学んで取り組みへの参考とする。

5. 来年度のスケジュールについて

配布資料／2023 実績、2024 予定参照

・サービスCについては予定表内容変更が見込まれる

・都のスマホ相談会は5月から月一回、第4火曜日 14:00～16:30 と回数を減らして継続

※スマホサポーターによる相談会「スマホちょこっと相談室」を4月から月一回、第2火曜日に 14:00～16:00 で開催予定。

6. 情報共有

・3B 体操について／先日のC型個別地域ケア会議で話題に上がった3B 体操は南センターや北センターで行われている。講師：W氏、開催日時など詳細は以下参照、<http://www.wakana3b.sakura.ne.jp/>

7. その他

・応援ブックについては各配架場所への追加配布など冊子の減り具合を見て随時対応する。裏表紙、二次元コードのアンケート周知もあわせて行う。

・にし包括では、本町住宅の健康サロンをJKKと協力して行っているが、住民主体の取組にする良い方法について意見を伺いたい。

⇒みなみ包括でも貫井住宅でJKKと認カフェを始めたが同じ課題が有り。イベントやプログラムで人を寄せてもキーパーソンに繋がらない。

⇒ひがし包括は二層協議体など話し合いの場を設けて地域や関係機関や、当事者のかかわりを深めている。自主化や住民主体への取組は関係者・関係資源を増やすなどの根気と時間が必要なのではないかと思われる。

次回、生活支援連絡会 4月17日 14:00 本町暫定第一会議室